

令和 5年度予算見積調書

課室名: さきたま史跡の博物館

担当名: 総務・公園管理担当

内線:

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P82	さきたま史跡の博物館管理費		一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費		
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4, 8, 11
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7, 8-9, 11-4
1 事業概要			5 事業説明						
さきたま史跡の博物館を適切に管理し、埼玉県の誇りである国宝「武蔵稲荷山古墳出土品」等の保管、資料の収集保護活用の円滑化、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の一層の保存活用を図るとともに、考古資料の展示や体験事業を通じて県民の学習活動を促進する。			(1) 事業内容						
ア 情報・体験学習室の運営 4,207千円			ア 情報・体験学習室の運営 4,207千円						
イ 展示・広報活動 3,529千円			イ 展示・広報活動 3,529千円						
			(2) 事業計画						
			ア 体験学習室の運営						
			まが玉作りや古代体験、さきたま講座、史跡探訪等の事業を行い、史跡や文化財に対する興味・関心を高める機会を提供する						
			イ 企画展の開催						
			(ア) 最新出土品展の開催を予定						
			(イ) 企画展の開催を予定						
			(3) 事業効果						
			令和2年度利用者数 98,742人 → 令和5年度 120,900人(目標)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(4) 県民・民間活用、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況						
			ア まが玉作り等の事業でボランティアを活用						
			イ 広報誌等への掲載での相互協力、県立学校とのイベント等の実施						
			ウ 埼玉県埋蔵文化財調査事業団と連携して、ほるたま展を開催						
			エ 行田商工会議所及び世界遺産サポーターの会と連携して発掘調査現地説明会及び世界遺産関連講座を開催						
			オ 地元市町村や企業等と連携して、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の魅力を高め、広く周知						
3 地方財政措置の状況 (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人=43,700千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
		財産収入	諸収入						
決定額	7,736	5,865	121					1,750	334
前年額	7,402	5,165	121					2,116	

事業内訳書

事業名	さきたま史跡の博物館管理費		
単位事業名	情報・体験学習室の運営	予算額	4,207千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	40	0	さきたま講座講師謝金 20,000円×2回分
需用費	4,111	354	まが玉づくり用消耗品 4,025,000円 体験活動用消耗品 86,000円
役務費	56	0	体験活動衣装洗濯費用 21,000円 ボランティア活動保険料 35,000円
合計	4,207	354	

単位事業名	展示・広報活動	予算額	3,529千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	220	△20	テーマ展講師謝金 20,000円×1回分 シンポジウム講師謝金 25,000円×4人×2回分
需用費	1,159	0	シンポジウム講師昼食代 4,000円 シンポジウム資料印刷代 495,000円 古墳群散策ガイドブック印刷代 660,000円

単位事業名	展示・広報活動	予算額	3,529千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	835	0	企画展資料搬出入経費 835,000円
委託料	1,186	0	企画展販促物作成業務委託 967,000円 グッズ作成業務委託 219,000円
使用料及び賃借料	129	0	画像編集ソフト使用料 80,000円 シンポジウム会場使用料 49,000円
合計	3,529	△20	